

1. 県内のすべての学校に校務システムを配備する

県内すべての学校の先生と子どもたちのために、地域や規模に差のない学校教育環境を創る

2. 県教委のリードでムリ・ムダ・ムラを排除する

やるべき業務の質を上げるため、様式の統一・標準化、調査報告業務負担の軽減をめざす

3. 子どもたちの今と未来のために正確な情報を共有する

近未来の大学入試改革にも対応できる、情報を共有できる素地を創る

4. 県域共同調達で学校環境を構築する

「チームなら」として、それなりのものをより安く、教育にしっかり投資できる環境を創る

5. 教員の働き方について実情を把握して効果測定をする

教員の業務改善を目指し、その効果を定量的に測定する

6. 先生の心に火を灯す

子どもたちを伸ばすために自信をもって教育する先生になる

県域統合型校務支援システムの将来構想

県域で共通のグループウェア・CMSによる情報の連携・共有

学籍管理・成績処理(教務・進路)

幼

小学校

中学校

高等学校

単位制

定通制

高校入試(出願から合格発表まで)

卒業後

特別支援学校

義務教育学校

中等教育学校

eポートフォリオ

(まなびの蓄積・指導情報や保健情報の共有・不登校支援等)

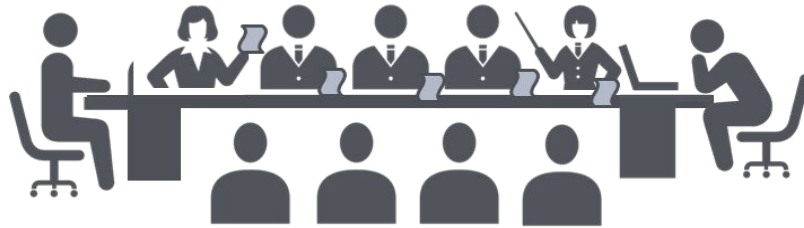
出退勤データ

公金の管理

図書情報共有

県域統合型校務支援システム検討体制

県域統合校務支援システム運用検討協議会



- 市町村教育委員会代表
- 奈良県教育委員会代表
- 各部会代表
- 教育情報化コーディネーター

小学校部会



中学校部会



実証地域部会



県内全教育委員会

情報教育・ICT環境整備担当者連絡協議会

最終構想実現に向けた想定スケジュール

